

神戸医療産業都市のあゆみ

20年のあゆみを、医療の未来へ

神戸医療産業都市は、基本構想の検討開始から2018年10月で20年を迎えます。現在、神戸ポートアイランドには340を超える医療関連企業・団体が集積しています。これらの集積を活かした分野を超える連携・融合を通じて、これまでになかった革新的な医療技術や医療機器・医薬品を生み出す“イノベーション”の創出を目指しています。

1998 (平成10年)

- ▶神戸医療産業都市構想懇談会設置 (座長:井村裕夫 神戸市立中央市民病院院長(当時))



井村裕夫 神戸市立中央市民病院院長(当時)

2006 (平成18年)

- ▶医療関連企業・団体進出数100社
- ▶理化学研究所 分子イメージング研究開発拠点(当時)開設
- ▶神戸医療機器開発センター(MEDDEC)開所
- ▶神戸健康産業開発センター(HI-DEC)開所



医療関連企業・団体進出数100社

2008 (平成20年)

- ▶財団法人計算科学振興財団設立
- ▶神戸医療産業都市構想10周年記念式典・シンポジウム



神戸医療産業都市構想10周年記念式典・シンポジウム

2004 (平成16年)

- ▶神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター(BTセンター)/神戸大学インキュベーションセンター開所
- ▶神戸バイオメディカル創造センター(BMA)開所

2002 (平成14年)

- ▶神戸国際ビジネスセンター(KIBC)完成
- ▶神戸インキュベーションオフィス(KIO)開所

1999 (平成11年)

- ▶神戸医療産業都市構想研究会設置



神戸医療産業都市構想研究会

2000 (平成12年)

- ▶財団法人先端医療振興財団 設立
- ▶理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター(当時)開設



理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター(当時)

2005 (平成17年)

- ▶神戸健康科学(ライフサイエンス)振興会議設置

2003 (平成15年)

- ▶先端医療センター(IBRI)全面開業
- ▶先端医療センター病院開設
- ▶神戸臨床研究情報センター(TRI)開所



先端医療センター(IBRI)開所式



神戸臨床研究情報センター(TRI)

2007 (平成19年)

- ▶神戸健康科学(ライフサイエンス)振興ビジョンを提言

2014 (平成26年)

- ▶世界初の自家iPS細胞を用いた移植手術の実施(対象疾患:滲出型加齢黄斑変性)
- ▶ポスト「京」の神戸立地が決定
- ▶「関西圏国家戦略特区」への指定
- ▶伊藤忠メディカルプラザ開設

2012 (平成24年)

- ▶スーパーコンピュータ「京」共用開始
- ▶先端医療振興財団、公益財団法人へ移行



スーパーコンピュータ「京」

2010 (平成22年)

- ▶理化学研究所 計算科学研究機構(当時)(スーパーコンピュータ「京」)開設

2013 (平成25年)

- ▶神戸低侵襲がん医療センター開設
- ▶西記念ポートアイランドリハビリテーション病院開設
- ▶チャイルド・ケモ・ハウス開設

2017 (平成29年)

- ▶世界初の他家iPS細胞を用いた移植手術の実施(対象疾患:滲出型加齢黄斑変性)
- ▶先端医療センター病院の神戸市立医療センター中央市民病院への統合
- ▶神戸医療イノベーションセンター(KCMI)開所
- ▶神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター開設
- ▶神戸アイセンター開設
- ▶兵庫県立粒子線医療センター附属 神戸陽子線センター開設



世界初の他家iPS細胞を用いた移植手術記者会見の様子



神戸アイセンター

2011 (平成23年)

- ▶医療関連企業・団体進出数200社
- ▶「関西イノベーション国際戦略総合特区」への指定
- ▶神戸市立医療センター中央市民病院が先端医療センター隣接地に移転・開設
- ▶計算科学センタービル(高度計算科学研究支援センター)開所
- ▶兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究所設立
- ▶神戸大学統合研究拠点(当時)開所
- ▶国際医療開発センター(IMDA)開所
- ▶神戸ハイブリッドビジネスセンター(KHBC)開所



神戸市立医療センター中央市民病院

2009 (平成21年)

- ▶甲南大学ポートアイランドキャンパス(フロンティアサイエンス学部)開所

2015 (平成27年)

- ▶医療関連企業・団体進出数300社
- ▶文科省所管事業「健康“生き活き” 羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム」の開始
- ▶理化学研究所融合連携イノベーション推進棟(HIB)開所
- ▶神戸大学統合研究拠点アネックス棟(当時)開所



医療関連企業・団体進出数300社